

教員各位

東京大学教養学部

## Aセメスター（A2ターム） 定期試験の実施について

2021年度Aセメスター定期試験を下記により実施します。定期試験を実施される先生方は下記を必ずご一読のうえ、試験の実施方法等や問題提出のスケジュールをご確認いただき、定期試験の準備を開始いただくようお願いいたします。

記

**（1）繰り上げ試験（平常授業時間割によって実施する試験）の場合**

以下の科目は、原則、最終授業日までの平常授業時間に実施願います。

- ・基礎科目 「英語二列」、「日本語」
- ・総合科目 L系列「外国語初級・中級・上級」、「古典語初級・中級」
- ・主題科目

対面授業を実施している科目を除き、原則オンラインでの試験実施をお願いいたします。

全ての授業をオンラインで実施している科目、および偶数週に対面授業を実施する科目において、特別な事情により最終授業日等に対面試験の実施を希望する場合は、事前に教務課にご相談ください。

試験監督は授業担当教員（非常勤教員を含む）をお願いしております。

**（2）本試験（試験時間割によって実施する試験）の場合****<試験期間>**

Aセメスター開講科目：1月24日（月）～2月2日（水） ※土日除く。2月10日（木）は予備日

A1ターム開講科目：11月26日（金） ※11月27日（土）は予備日

A2ターム開講科目：1月31日（月）～2月2日（水） ※2月10日（木）は予備日

**<実施形態>**

原則、対面試験を実施します。（PEAK科目および部会の方針によりオンライン試験を実施する一部科目を除く。）

但し、基礎疾患等のやむを得ない事情により対面試験を受験できない学生については、教務課で情報をとりまとめのうえ対象者をお知らせしますので、別途代替措置（オンライン試験、レポート課題での評価等）を実施願います。代替措置の対象となる学生については、11月中旬頃迄にお知らせします。なお、代替措置の実施にあたっては、対面試験を受験する学生と比べて不利益にならないよう、可能な限りのご配慮をいただけますようお願いいたします。

**<本試験実施にあたっての事前準備>**

○ 試験時間、問題印刷の有無、解答用紙の種類、持ち込みの可否（教科書、物品等）については、UTASの「成績・定期試験」→「定期試験（前期課程）」→「試験実施内容調査」（回答必須）にご回答ください。教務課前期課程チームで行う事前準備及び試験当日の業務はご回答いただいた内容に基づいて行われます。

- 試験時間割は別紙をご覧ください。
- 本試験の試験監督の割当については、後日、試験監督日程調査にてご都合をお伺いします。
- **試験実施内容調査回答期限及び試験問題提出期限**

A1 ターム開講科目： **11月15日（月）正午**

Aセメスター/A2 ターム開講科目： **1月 7日（金）正午**

※試験監督への留意事項等がある場合には、上記期限までにご提出ください。

- 試験問題の印刷については（４）をご参照ください。

※電子ファイルにてご提出いただく場合、下記の受取フォルダにアップロードをお願いいたします。メール添付での提出も可能ですが、word ファイルの受信ができませんので、word ファイル以外の形式でご提出ください。

【受取フォルダ】※ファイル名を「授業科目名\_担当教員名」としてください。

<https://webfs.adm.u-tokyo.ac.jp/public/b9IUwAYIIM1AsBkJJP18qIdKTeF6M-y5E3bBy4ub3K2i>

### （３）定期試験（本試験）の実施時間について

定期試験（本試験）時間は下記のとおりです。

感染対策のため、2021年度Aセメスター（A1 ターム・A2 ターム）定期試験においては、可能な限り、試験時間を**60分**としていただけますようお願いいたします。（科目・試験の性質上、やむを得ず60分を超える試験を実施する必要がある場合は、90分を超えない範囲にて試験時間を設定してください。）

試験の開始時刻は、90分授業の開始時間から**10分繰り下げた時刻**となりますので、ご注意ください。よろしくお願いいたします。

時限	定期試験（本試験）時間 ※試験時間 60 分の場合	（参考）授業時間 ※90 分のコアタイム	（参考）授業時間 ※従来の 105 分授業
1 時限	8 時 40 分～9 時 40 分	8 時 30 分～10 時 00 分	8 時 30 分 ～ 10 時 15 分
2 時限	10 時 35 分～11 時 35 分	10 時 25 分～11 時 55 分	10 時 25 分 ～ 12 時 10 分
3 時限	13 時 25 分～14 時 25 分	13 時 15 分～14 時 45 分	13 時 00 分 ～ 14 時 45 分
4 時限	15 時 20 分～16 時 20 分	15 時 10 分～16 時 40 分	14 時 55 分 ～ 16 時 40 分
5 時限	17 時 15 分～18 時 15 分	17 時 05 分～18 時 35 分	16 時 50 分 ～ 18 時 35 分

### （４）試験問題の印刷について

**教務課に印刷を依頼する場合**

UTAS「成績・定期試験」→「定期試験（前期課程）」→「**試験実施内容調査**」（回答必須）に必要事項を入力の上、試験問題提出期限（A1 ターム開講科目：**11月15日（月）正午**、Aセメスター/A2 ターム開講科目：**1月 7日（金）正午**）までに、原稿を教務課前期課程チームに提出してください。  
**※試験問題印刷には専用の印刷機を使用しておりますのでステープル(ホチキス)留め・カラー印刷はできません。**

※試験問題には、次ページ「試験問題に記載する事項」を明記願います。

※感染対策のため、配布・回収時の接触を極力減らすことができるよう、配布物（試験問題、解答用紙、計算用紙）の枚数は可能な限り少なくしていただけますよう、作問の際にご配慮いただけますと幸いです。

**教務課での印刷が不要な場合**・**問題提出期限に遅れた場合**

UTAS「成績・定期試験」→「定期試験（前期課程）」→「試験実施内容調査」（回答必須）にその旨ご回答いただいたうえで、**試験日の3営業日前（土・日・祝日を含まない）**までに教員自ら履修者数分＋予備（◆1）の試験問題をコピーして、印刷済の試験問題を教務課前期課程チームに提出してください。**教員が試験問題を直接試験会場に持参することは認められません。**

◆1 5部×試験教室数＋1部（教務課保管分）

※試験問題には、下記「試験問題に記載する事項」を明記願います。

※履修者数は、UTAS「履修」→「履修者名簿出力」から確認できます。準備の都合上、対面試験を受験できない学生も含む人数分（履修者全員分）のご用意をお願いします。

※授業期間中（補講日を含む）は1号館2階の非常勤講師控室でコピーが可能です。

授業期間外は控室が閉室しておりますので、お手数ですがご自身でコピーをお願いします。

以 上

試験問題に記載する事項 **※試験問題には以下の事項を記載願います**

- ① 科目名    ② 教員名
- ③ 試験実施月日・時限・試験時間
- ④ クラス指定科目の場合は指定クラス
- ⑤ 学生に配付する解答用紙・計算用紙の枚数

「1枚」の場合：B 4版両面1枚

「2枚」の場合：A 4版両面2枚（冊子）

「3枚」の場合：A 4版両面3枚（冊子）

「4枚」以上の場合：上記の「2枚」、「3枚」を組み合わせる。

受験者数と答案部数を一致させるため、答案は1人1部（1枚・1冊）厳守でお願いいたします。

解答用紙の追加配付は認められませんので、解答用紙の不足が見込まれる場合には、あらかじめ多めに枚数を指定してください。

- ⑥ 持込みを認める場合は別紙「試験時における持込についての申し合わせ」を参照してください。

(記入例)

科目名 ●●●●●●	教員名 ●● ●●	●月●日●時限 試験時間●分	
指定クラス ●科●類●組	解答用紙 ●枚	計算用紙 ●枚	持ち込み 有・無

記入例のテンプレート：(以下をご利用ください)

<https://zenkyomu.c.u-tokyo.ac.jp/shiken/examinfo-template.docx>

# 試験実施内容調査入力マニュアル

UTAS

<https://utas.adm.u-tokyo.ac.jp/campusweb/>

- ① 上記のURLからログイン画面に進み、ID・パスワードを入力しUTASにログインしてください。
- ② 画面上部のメニューから「成績・定期試験」の項目をクリックし、「定期試験（前期課程）」のプルダウンメニューから「試験実施内容調査」をクリックしてください。
- ③ 入力したい科目の科目名横にある「入力」をクリックし、「試験問題の印刷」、「解答用紙・計算用紙の枚数」、「持ち込み可否」、「試験時間」などの項目を入力してください。
- ④ ③の項目の入力が終わり、入力内容に変更のない場合は「確定画面へ」のボタンをクリックし、登録してください。  
内容が未確定の場合は、「一時保存」のボタンをクリックすると入力状態が保存されます。（締切日を過ぎても「一時保存」として登録されているものは締切日翌日に「確定」したのものとして処理されます。）

## 試験問題実施内容調査回答及び試験問題提出期限

A1ターム開講科目・・・・・・・・・・ **11月15日（月）正午**

Aセメスター/A2ターム開講科目・・・・ **1月7日（金）正午**

※繰り上げ試験の場合は試験実施内容調査への回答は不要です。

## 試験時における持込についての申し合わせ

2004.11.18 教務委員会了承

○試験時における持込について次のとおり取り扱うこととする。

- ・持込は、全て不可、もしくは、全て可、を原則とする。
- ・全て持込可（特例としての一部可を含む）の場合、科目担当教員が試験監督を行うこととする。なお、病気等やむを得ない事情がある場合には、代理監督を立て、事前に持込可否について十分な周知を行うこととする。また、代理監督を立てた場合は、代理監督及び応援監督に監督を一任する。
- ・特例としての一部持込可の場合、試験時に持込を認める物品が何か、授業の際に学生に対し十分な周知を行うこと。
- ・持込を認める物品については、試験開始前に全て机の上に出させ、試験時間中の出し入れは認めない。

### 経緯説明

試験時における持込について、当該科目の担当教員が監督を行えず、応援監督が試験を実施する際、持込を認める物品として担当教員から申し出された、手書きノート、講義で配布したプリント、書き込みの無い六法等など、持込を認められた物品であるかどうかの確認が試験時間中に行えないなどの問題がある。また、履修者が多い科目等、複数教室で同時に試験実施した際、教室間で、監督者の判断に食い違いが生じる恐れもあり、公平性を期するため、持込に関する取り扱いを定めたものである。